

(様式1)

令和元年度 学校経営計画

1 学校教育目標

自立と社会参加を目指し、明朗かつ協調性豊かで、心身ともに健康な児童生徒を育成する。

2 学校の特徴

本校は県中央部に位置し、知的障害を主障害とする児童生徒を対象とする特別支援学校である。小学部から高等部まで 259 名の児童生徒が学んでおり、県内では最も規模が大きい。自閉症（傾向を含む）の児童生徒が半数を超え、さらに、知的障害と他の障害を併せ有する児童生徒も多い。

一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、個別の指導計画に基づいて個に応じた学習活動を展開するとともに、障害等の特性に応じて学習形態や学習環境を工夫している。また、新学習指導要領に示された枠組で学習内容の見直しや精選を行い、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を進め、小学部・中学部・高等部における系統的で一貫した指導の充実を目指している。

3 学校の現状と課題

- 児童生徒が安全に学校生活を送るため、災害等の緊急事態に素早く対応できるよう、火災や地震発生時の避難訓練を年3回実施している。また、避難訓練の際に児童生徒の保護者への引き渡し訓練を年1回実施し、保護者と教員間で引き渡しの方法をシミュレーションしている。その中で、実際に災害等が起こった時に、速やかに対応できるのか、道路事情等で迎えに来ることができない場合の児童生徒への対応はどうするのか等の課題が挙げられている。そのため、訓練やシミュレーション等を通して、引き続き課題や問題点を整理し、有事に対応できるように体制をより一層充実することが必要である。また、本校では、「学校防災マニュアル」を作成しており、事前の備えから、災害発生時や発生後の対応について、詳細に示している。災害時に速やかに対応できるように、教職員がこれらを熟知すると共に、より実践的で分かりやすいマニュアルとなるよう改善することが必要である。
- 本校では、食物アレルギーのある児童生徒が年々増える傾向がみられる。学校生活では、給食や授業等で一人の児童生徒に多数の教職員が関わることから、児童生徒が、安心して学校生活を送るために、全ての教職員が食物アレルギーについて理解し、適切に対応することが必要である。また、食物アレルギーのある児童生徒のみならず、周囲の児童生徒も食物アレルギーについて知ることが大切であるため食物アレルギーに対する指導を実施したいと考えている。
- 本校では、研修会で児童生徒の実態に合わせたアプリの紹介やアプリを活用した教材作りを行ってきており、タブレット端末を授業等に活用する教職員が増え、意識の高まりがみられる。本校は今年度、ICT教育推進事業実施校となり、ICT機器が配備されるなど、ICT環境が整備されることになった。そのため、これまで以上に個人情報取り扱いやセキュリティ面についての共通理解が必要となる。また、導入されるタブレット端末、プロジェクト、スクリーンを有効に活用した授業作りについて研修を深める必要がある。

(様式2)

4 学校教育計画

項 目		目標・方針及び計画	
1	学習活動	目標	<ul style="list-style-type: none"> 作成しやすく活用しやすい個別の教育支援計画作成のために、作成手順、記入内容、記入例等を見直す。 個別の指導計画の「目標及び評価例」の見直しを行う。
		計画 教務	<ul style="list-style-type: none"> 「個別の指導計画様式検討のための教務部小委員会」を継続し、目標の立て方、記入内容等を検討するとともに、学部に応じた記入例を作成する。 個別の指導計画の「目標及び評価例」について、教務部を中心に計画的に見直しを図り、教職員に基本的な考え方や注意事項などを周知する。
		目標	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の実施に向け、本校が培ってきた取組を振り返り、各教科においてこれからの時代に必要な児童生徒の資質・能力を明確にし「何を学ぶか」という学習内容の見直しや精選を行う。
		計画 研修	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の理念について研修をする。 各教科において、学習内容の見直しや精選を行う。
2	重点1 学校生活	目標	<ul style="list-style-type: none"> 通学バスや路線バスの乗車マナーの定着を図る。
		計画 生指	<ul style="list-style-type: none"> マナーアップ集会やマナーアップデー、マナーアップ評価週間を設定し、乗車マナーについて具体的な指導を行う。 取組を学校便りやホームページ等に掲載し、保護者の理解と協力を得る。
		目標	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の安全な生活を守るための防災体制を整える。 教職員の防災に対する意識の向上を図る。
		計画 生指	<ul style="list-style-type: none"> 安全で確実に児童生徒を保護者に引き渡しできるように引き渡し訓練と研修会を行う。 有事に対応できるように学校防災マニュアルを活用した学習会を行う。
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 指導や体制を充実させて安全安心な学校生活を保障し、児童生徒の健やかな成長を促す。 	
	計画 生指	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット事例の蓄積を行うとともに、対策検討会を随時実施する。 対策検討会の検討結果で共通理解が必要な内容についてはグループウェアで知らせ、全教職員に周知する。 	
	目標	<ul style="list-style-type: none"> 検診・受診に関する指導の充実を図る。 	
	計画 保健	<ul style="list-style-type: none"> 学校医と連携を取り、検診・受診の内容や検査方法について児童生徒や保護者に情報を提供する。 委員会活動等を通して、検診・受診の内容やマナーを分かりやすく紹介する。 	
	重点2	目標	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の安全・安心な学校生活のため、食に関する指導の充実を図る。
	計画 保健	<ul style="list-style-type: none"> 給食指導や保健指導により、児童生徒の食物アレルギーへの理解を促す。 教職員が食物アレルギーやアナフィラキシーについて正しく理解し、緊急時に適切な対応を行うための校内体制の充実を図る。 	
3		目標	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、教員に対して進路に関わる情報提供を充実させ、小学部から高等部まで保護者と教員がより連携して一人一人の就労に向けた進路支援体制の構築を目指す。

	進路支援	計画	<ul style="list-style-type: none"> 進路だよりや進路説明会などの機会を通して、進路支援の取組や卒業後の生活、福祉制度などの情報を提供する。 担任が保護者に対してよりよい進路相談が行えるように、進路先の情報を集約し共有できるようにする。
4	特別活動	目標	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな場面で挨拶ができる児童生徒の育成を図る。
		計画 特活	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が、学校生活において1日を通して進んで挨拶するように、児童生徒会執行部員が中心となって「あいさつ運動」や「ポスター作り」などを実施する。 学級を中心に、児童生徒の実態に合った挨拶に関する指導を行う。 挨拶の定着を図るために、家庭とも連携して取り組み、挨拶が日常的に交わされるように働き掛ける。
	特別活動	目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流活動の内容の充実を図る。
	計画 学部 特活	<ul style="list-style-type: none"> 地域に本校の教育について情報を発信し、理解と啓発を図る。 交流先（校）の理解と共同意識を推進するように活動内容の充実を図る。 	
5	その他	目標	<ul style="list-style-type: none"> 各PTA連合会やPTAの事業について、案内を出したり情報提供を行ったりして、PTA活動への興味関心を高める。
		計画 総務	<ul style="list-style-type: none"> 各PTA連合会やPTAの事業について、校内掲示板や案内プリントで予告し、会員の参加を促す。 各PTA連合会やPTAの事業について、内容等の情報をPTA会誌で提供し、必要な情報を会員間で共有できるようにしたり、次回の事業に期待がもてるようにしたりする。
		目標	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の読書環境を整えるとともに読書活動の推進を図る。
		計画 情図	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が利用しやすい図書室となるよう、書架や書籍の配置等環境を整える。 読書推進活動について、現在の活動を見直したり、新たな活動を考えたりし、図書委員会と連携して取り組む。
		目標	<ul style="list-style-type: none"> 教員のICT活用能力の向上を図る。 個人情報管理の徹底とセキュリティー面の知識の向上を図る。
		計画 情図	<ul style="list-style-type: none"> タブレット型端末の利用の仕方及び有効な利用方法等を共有化する。 個人情報管理上のルールをより分かりやすく提示し定期的に呼び掛ける。 個人情報管理リスト作成の意義や方法について全職員に共通理解を図る。 セキュリティーについてのマニュアルを更新したり、必要と思われるマニュアルを追加したりするなど分かりやすいように整理する。
		目標	<ul style="list-style-type: none"> 寄宿舎の規則正しい生活を通して、基本的な生活習慣を身に付けるよう一人一人に応じた具体的な支援を行う。
		計画 舎	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の実態に応じた生活目標を設定し、支援の在り方について指導員間で共通理解を図る。 学部、担任、家庭と連携を図り、一過性とならない効果的な生活指導に努める。
		目標	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害のある幼児児童生徒の適切な学びの場の選択につながるよう、学校説明会等の行事や就学・進学相談等の充実を図る。
		計画 教相	<ul style="list-style-type: none"> 幼児保育や学校関係者向けの学校説明会を実施し、本校教育活動への理解を深めたり、就学や進学について適切な情報提供を行ったりできるようにする。 高等部学校見学会や高等部入学に関わる教育相談において、特別支援学校高等部入学者選抜についてより分かりやすい資料を作成して説明することで、保護者の理解・啓発に努める。また、学校

重点 3

			説明会等を通して、中学校の担当者にも説明する機会をもつようにする。
--	--	--	-----------------------------------